

# 大崎 | 地区

新宿や臨海部と鉄道でダイレクトにつながる職・住・遊・学の拠点エリアです。高層ビル群が立ち並ぶ大崎副都心のオフィス街を少し離れると、目黒川や池田山公園など豊かな自然を味わえる場所が点在し、閑静な住宅地が残る地域でもあります。



## 01 目黒川・水辺エリア

目黒川の両岸には区によって桜並木が整備され、東京でも有数の花見の名所として春にはその眺めを楽しむ人たちが賑わいます。初夏には五反田駅から徒歩5分の目黒川沿いにある「五反田ふれあい水辺広場」で七夕フェスタが開催され、大勢の来場者で賑わいます。冬にはイルミネーションで彩られる目黒川は、年間を通して多くの人を訪れる人気の散策スポットです。

川は世田谷区池尻を上流端とし、目黒区と品川区の住宅地や繁華街を横断して東京湾に注ぐ全長約8kmの二級河川です。支川は現在暗渠化され、下水道幹線として活用されており、上部の緑道は暮らしにうるおいをもたらしています。下流部は潮の満ち引きの影響を受けて水位が変化する感潮河川となっています。

河口付近はかつて「品川」と呼ばれ、これが地名「品川」の由来とされています\*。明治期には川沿いに鉄道や官営品川硝子製造所が造られ、流域は近代工業の発祥地となりました。近年は工場跡地の再開発により新しい街が生まれています。

※諸説あり



## 02 五反田JPビルディング

2024年4月にオープンした大規模複合施設です。地上20階・地下3階、オフィス・シェアオフィス・ホテル・ホール・商業施設などから構成されています。

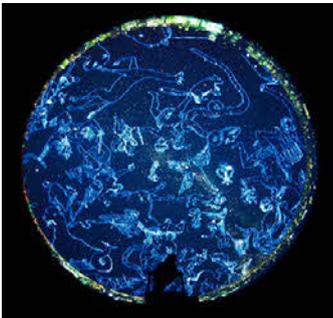
コンセプトは「TOKYO, NEXT CREATION」。スタートアップ企業が集積する五反田地区で新たな働き手たちをサポートする拠点として注目を浴びています。1階のフードホール「五反田食堂」には多彩な人気店が出店し、施設利用者だけでなく近隣住民も気軽に楽しめる「マチの食堂」を目指しています。



写真提供：品川経済新聞

## 03 五反田文化センター

プラネタリウム、図書館、音楽ホール、スタジオなど、様々な施設がある文化施設です。特に5階にあるプラネタリウム（大人200円、4歳～中学生50円）は、色や明るさの再現に優れた投影機を導入していることから、リアルな星空を体験できるとあって人気。また、360度の映像が映せる全天デジタルシステムにより、迫力ある映像を全天に映し出すことで、多くの来場者を楽しませています。



## 04 大崎駅（マルシェ）

大崎駅南口改札前では毎週木～土曜に駅前マルシェ「おおさき二十四節気祭」が開催されています。全国の生産者や近隣の事業者が多数出店し、新鮮な野菜や果物、海産物などが並び、大崎近隣に暮らす家庭の食卓に季節ごとの旬の恵みを届けています。



## 05 池田山公園

江戸時代初期、岡山藩池田氏の下屋敷があったことから「池田山」と呼ばれています。起伏に富んだ地形を生かし、高台から池を覗き見るように造られた回遊式庭園です。梅や椿、つつじ、花菖蒲、アジサイに紅葉と、多彩な四季の自然を楽しむことができます。



## 06 ねむの木の庭

上皇后の生家である正田邸の跡地に整備された公園。上皇后が高校時代に作った詩から命名されました。約50種の草花が植えられ、シンボルのねむの木は園内どこからでも目に入ります。春と秋にはオレンジ色のバラ「プリンセスミチコ」が見ごろとなります。

